

政務活動の主な内容, 成果等

1. 県民が安心できる医療政策の実現をめざす活動

- ① 目的：新型コロナウイルス感染症に関すること及び県内の医療体制について調査し、保健医療政策への反映や県民生活の安定を図る。
- ② 活動時期：令和3年4月から令和4年3月
- ③ 活動内容：国内外における感染症対策の動向を踏まえ、保健・医療政策のあり方を調査・研究するとともに、茨城県保険医協会をはじめとする医療関係者や、新型コロナウイルス感染拡大防止策に伴い様々な影響を受けている県民・事業者からヒアリングを実施した。また、医師偏在に関する調査研究を行い、本県の医療体制について考察を行った。
- ④ 成果等：上記の活動を基に、本会議での一般質問や予算特別委員会・常任委員会での質問を行うことで、本県における感染症対策や医療体制確保等に関する政策活動に活かした。

<令和3年3定・一般質問>

- ・茨城県の療養支援体制、保健所の機能、検査体制、ワクチン接種のスムーズな体制の構築

<令和4年1月臨時会・会派代表による質疑>

- ・新型コロナ感染拡大への対応について

<令和4年一定・一般質問>

- ・新型コロナウイルス感染症を受けた今後の地域医療構想のあり方

2. ジェンダー平等社会をめざす活動

(1) 生理の貧困の解消について

- ① 目的：経済的な理由で生理用品を買うことができない「生理の貧困」の問題を解消し、ジェンダー平等の第一歩を踏み出す県政を実現する。
- ② 活動時期：令和3年4月から令和4年3月
- ③ 活動内容：女子学生等対象のアンケート結果の分析や当事者たちとの意見交換を踏まえ、県内の女性議員の方々と連携し、担当部署からのヒアリングを行うとともに、県立学校をはじめ県内のすべての学校のトイレに生理用品を配置するよう、副知事や教育長への要望活動を行った。
- ④ 成果等：県立学校5校で生理用品が配置された。また、今後の更なる拡充を求め、令和3年3定において一般質問を行った。

(2) 性的マイノリティに関する課題について

- ① 目的：セクシュアリティに関わりなく、誰もが自分らしく生活できる県政の実現をめざす。
- ② 活動時期：令和3年4月から令和4年3月
- ③ 活動内容：本県における性的マイノリティに関する施策について、県や市町村の担当部署や当事者からのヒアリングを行うとともに、先進自治体の施策について調査を行った。
- ④ 成果等：令和4年1定の一般質問を通し、主に以下の点について政策提言を行

った。

- ・パートナーシップ制度導入自治体間の協定締結による連携推進
- ・県職員等が加入する地方職員共済組合の制度改善

3. 安心・安全な食の実現をめざす活動

- ① 目的：無農薬による農業推進と安心・安全な学校給食を実現するため、地産地消のオーガニック食材を使った給食をめざす。
- ② 活動時期：令和3年4月から令和4年3月
- ③ 活動内容：常陸大宮市で無農薬野菜を生産する農家を視察し、供給体制を調査した。また、県内自治体議員や保護者とともに学校給食の食材調達の現状を調査したり、県や市町村の担当部局との意見交換を行なうことを通し、県や市町村への要望活動に取り組んだ。
- ④ 成果等：令和4年度から、いばらきオーガニックステップアップ事業の一環として、地域における有機農業拡大の取組支援（1,000万円）が新規事業として開始された。また、今後の更なる拡充を求め、決算特別委員会や文教警察委員会で種々提案を行った。